

拝啓

今年も早や6月末、梅雨から暑い夏へ向かう時期となりました。お元気でお過ごしのことと思います。私の家の庭先では、スイートピーの後に、朝顔と夕顔とにがうりの苗を植えて、つるがだんだん伸びています。

いつもエンカウンターお読みいただきありがとうございます。先月から、ウィリアム・バークレー先生の『希望と信頼に生きる ウィリアム・バークレーの一日一章』から引用しています。バークレー先生は、日本では有名な聖書学者ですが、そのご生涯は案外知られていないと思います。それで伝記を探しているのですが、「バークレー 信仰のことば辞典」(日本キリスト教団出版局)という本の「はじめに」に、息子さんのロナルド・バークレーさんが書かれた略伝を見つけました。珍しい文章と思いますので、附録としてお送りします。

なお、「William Barclay The Authorized Biography By Clivel L. Rawlins」という本が1984年にイギリスで発行されているようですので、図書館でこの本を探して、写真が載っていれば写真を次号でご紹介できたらと思っています。

6月2日(月)6:00から、学士会館で、第5回新渡戸・南原賞授賞式が行なわれ、本誌読者の米倉安雄さんご夫妻、佐藤れんさんの知人の桑垣さんなどに手伝っていただいて、非常に立派に開催することができました。受賞者は、佐藤全弘先生と宮田光雄先生でしたが、両先生とも大変喜ばれ、感動的なスピーチを下さいました。そのほかの方々のスピーチも立派でした。

新渡戸・南原賞は、資金切れで今年で終わりかと思っていましたら、札幌の秋山財団がスポンサーになってくれることになりましたし、今回も赤字覚悟で、経費を相当切り詰めて準備をしましたら、110名も参加されたので、大幅な黒字となったのもありがたいことでした。

昨年12月1日に開かれた第5回新渡戸南原シンポジウムの記録を収めた本「平和か戦争か」が出来上がりました。本誌の読者で薛恩峰先生を囲む会の方々には、先日直接お渡ししました。それ以外の方には同封いたします。どうぞご覧ください。私も、南原先生の親友高木八尺先生のことを書いております。

暑さに向かう折から、御身体御自愛の程祈り申し上げます。

敬具

平成20年6月27日

山口周三

エンカウンターの読者各位